

地域中核病院の 早期改築と 医療体制の充実を

県立十日町病院の早期改築と機能強化による中核病院化を推進し、周辺の環境整備を図ります。また、医療機関や医師会などの協力を得ながら、休日や夜間における救急医療体制の充実に努めています。

地域活性化につながる 地域高規格道路の 建設促進

八箇峠トンネルの掘削工事が、2013年春の貫通を目標に進んでいます。市では、国・県と十日町インターまでの整備促進の協議を進めるとともに、アケセ道路と高山水沢線の整備やインターナジ周辺土地利用計画の策定に取り組み、上越沼沼地域振興快速

中山間地集落の 暮らしを 守っていくために

十日町市で先進的に取り組み、全国でも注目を集めている「地域おこし協力隊」をさらに増員し、外部の意欲ある人材と地域の潜在的な力を結びつけながら、高齢化集落の総合支援を進めます。

自然・人・地域が 共生できる環境を 目指して

循環型社会を推進する取り組みとして、排出事業者あるいはみ取り集運搬業者が生ごみ処理機を設置して、生ごみ減量に取り組むための補助制度を創設します。2010年にスタートしたエコポイント事業は、環境にやさしいと認められる活動にポイントを付与するもので、市民意識の醸成を目的に実施しています。また、バイオマス資源や、地熱、温泉熱、太陽光など、クリーンで安全な自然エネルギーの導入を推進しています。

City development with safety and peace of mind. Various initiatives are under way to keep everyone smiling.

An environment in which citizens can live safely and comfortably is being built by working towards a recycling society while protecting Tokamachi City's treasured rich natural environment, overcoming the problems associated with areas of heavy snowfall, infrastructure maintenance, reinforcement of disaster prevention systems, and revitalization of semi-mountainous areas.

◎建設安全放心的城市。 为了大家都能幸福快乐地生活。

在保护十日町市宝贵而丰富的自然环境的同时，为了实现循环型社会，克服了暴雪地带特有的课题，并正在通过健全社会基础，强化防灾体制，促进山间地区的活力，创造市民能够放心舒适生活的生活环境。

■災害時医療訓練 災害で多数の傷病者が発生したと想定し、病院等関係機関と連携を取りながら、傷病者のトリアージや災害派遣医療チームによる病院後方支援訓練などが行われます。



■ペレットストーブ燃料 十日町市では、間伐材などの未利用資源をエネルギーとして活用するペレットストーブの普及を促進することで、地球温暖化防止と資源循環型社会の構築を目指しています。



■実証試験中の地熱発電(松之山温泉) 環境省の実証実験として、温泉発電の普及のために、温泉や電力系統に影響を及ぼさない温泉発電システムの実用機の開発を行っています。100℃以下の既存温泉による実験は、全国初となる試みです。

■上越沼沼地域振興快速道路・新八箇トンネル工事風景 2013年春貫通予定。上沼道の一部、一般国道253号八箇峠道路は、十日町地域と南沼沼地域を相互に連絡し地域の活性化を促進することを目的としています。



■女性消防団 十日町市消防団には、約30人の女性消防団員が所属。女性団員は火災予防・応急手当・地域交流・消防団活動の普及啓発を主に期待されています。

みんなの笑顔を支えていくために

十日町市の宝物である豊かな自然環境を保全しながら循環型社会を目指し、また、豪雪地帯特有の課題を克服し、社会基盤整備を推進することで、市民が安心して快適に暮らせる生活環境づくりに取り組んでいます。

■十日町市の冬の暮らしを守る24時間体制の道路除雪 最大積雪3.77メートルの「56豪雪」を機に、地元の建設会社による企業体組織が編成されて、除雪体制が整えられました。



要請があればどこへでも、 災害救助犬がかけつけます。

地震などで建物が増壊した時に生埋めになっている人を捜し、吠えて場所を教えるのが、災害救助犬です。要請があれば、山をたどって遭難し行方不明になった人や徘徊老人なども捜します。阪神・淡路大震災のとき災害救助犬の活動を知り、犬の訓練士や消防隊員、犬のオーナーが集まり、自分たちの犬も社会貢献に生かそうと、「災害救助犬十日町」を発足させました。警察や消防の要請を受けての出動は年に10~20件です。可能ならどこへでも行きます。



■訓練風景 認定試験では山野での行方不明者捜索作業等に基づいて審査します。それに合わせて、基本服従態度、ハンゴやトンネルなどの障害物通過作業などの訓練を行います。

災害救助犬十日町隊長
NPO法人災害救助犬ネットワーク会員
藤田真治(じげん・あゆみさん)夫妻
十日町市宮中で藤田愛玩(あまな)犬訓練所(FUJIDOGSCOO)を経営するかわら、ボランティアで災害救助犬の育成と活動を行っています。